

6月の新着本

2022年

6月11日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

同志少女よ敵を撃て 【本屋大賞】	逢坂冬馬	第11回アガサ・クリスティー賞大賞受賞作。独ソ戦が激化する1942年、農村に暮らす少女セラフィマの日常は突如として奪われた。急襲したドイツ軍によって母親ほか村人たちが惨殺されたのだ。自らも射殺される寸前「戦いたい、死にたいか」女性兵士にそう問われた彼女は・・・おびたしい死の果てに、彼女が目にした“真の敵”とは？
赤と青とエスキース 【読者希望】	青山美智子	メルボルンの若手画家が描いた1枚の「絵画(エスキース)」をめぐる、5つの「愛」の物語。日本へ渡って30数年、その絵画は「ふたり」の間に奇跡を紡いでいく。彼らの想いが繋がる時、真実が現れる——。著者新境地の傑作連作短編集。2022年本屋大賞第2位作品。
正欲	朝井リョウ	生き延びるために、手を組みませんか。いびつで孤独な魂が、奇跡のように巡り遭う。あつてはならない感情なんてこの世にない。それはつまり、いてはいけない人間なんてこの世にいないということだ。共感を呼ぶ傑作か？ 目を背けたくなる問題作か？ 絶望から始まる痛快。あなたの想像力の外側に行く、作家生活10周年記念気迫の書下ろし長篇小説。
母の待つ里	浅田次郎	生まれ育った場所だけが「ふるさと」ですか？ 現代人に本当の幸せを問う、著者最高傑作！ 家庭も故郷も持たない人々の元に舞い込んだ「理想のふるさと」への招待。40年ぶりの郷里で私を温かく迎えてくれたのは名前も知らない(母)でした。奇跡の出会い、雪のように降り積もる感動、全く新しい家族小説にして永遠の名作誕生！
香君(上)(下)	上橋菜穂子	遙か昔、神郷からもたらされたという奇跡の稲、オアレ稲。ウマール人はこの稲をもちいて帝国を作り上げた。この奇跡の稲をもたらし、香りで万象を知るという活神(香君)の庇護のもと、帝国は発展を続けてきたが、あるとき、オアレ稲に虫害が発生してしまう。『精霊の守り人』『獣の奏者』『鹿の王』の著者による新たな代表作の誕生です。
残月記	小田雅久仁	近未来の日本、悪名高き独裁政治下。世を震撼させている感染症「月昂」に冒された男の宿命と、その傍らでひっそりと生きる女との一途な愛を描ききった表題作ほか、二作収録。最も新刊が待たれた作家、飛躍の一作！
中野のお父さんの快刀乱麻 【読者希望】	北村薫	父と娘の“名探偵コンビ” 好評シリーズ最新刊！ 出版界で起きる「日常の謎」に挑むのは、体育会系文芸編集者の田川美希と、抜群の知的推理力を誇る高校教師の父親。実家の掘り炬燵で繰り広げられる父娘の会話から、大岡昇平、古今亭志ん生、小津安二郎、菊池寛ら各界のレジェンドをめぐる「謎」を解き明かす……人気シリーズ第3弾。
探花 隠蔽捜査9	今野敏	信念のキャリア・竜崎に新ライバルが出現!? 人気シリーズ第9弾！ 神奈川県警刑事部長となった竜崎のもとに現れた同期入庁試験トップの八島という男。彼には黒い噂が付きまとっていた。「俺はただの官僚じゃない。警察官僚だ」次々と降りかかる外圧に立ち向かう竜崎は警察官僚(キャリア)としての信念を貫けるのか。新展開の最新刊。
はじめての	島本理生、辻村深月 宮部みゆき、森絵都	「はじめて」は、いつも痛くて、少し優しい。日本エンターテインメントの最前線&最高峰！ 文芸の最前線で活躍する4人の直木賞作家が、“小説を音楽にする”ユニットYOASOBIとコラボレーションし、小説、音楽、映像など、さまざまなジャンルで作品を展開しながら物語世界をつくりあげていく、壮大なプロジェクトが始まりました。
アルテミスの涙 【読者希望】	下村敦史	長期入院中で寝たきりの愛華は誰に妊娠させられたのか?・・・病院は騒然となり、政治家である愛華の父は激怒するが、前代未聞の事件はマスコミに報道されて世間の知るところとなる。真理亜は真相を探るべく話すことができない愛華のまばたきを通して彼女の“声”を聞かす。社会派ミステリーの旗手が人間の尊厳と命の倫理に迫る、新たな傑作。
ミシンと金魚 【今月のスタッフおすすめ本】	永井みみ	第45回すばる文学賞受賞作。生まれて老いてやがて死ぬ。誰もが辿るその道を圧倒的な才能で書き切る衝撃のデビュー作！ 認知症を患っているカケイ婆ちゃんの心の声を通して彼女の歩んできた人生をまざまざと焼き付けられる。昭和の貧しい時代をいろいろなことに耐えながら、これも人生と受け入れて生きてきた。
虚魚	新名智	“体験した人が死ぬ怪談”を探る怪談師の三咲は、“呪いか崇りで死にたい”カナちゃんと暮らしている。幽霊や怪談、呪いや崇り、オカルトや超常現象。両親を事故で亡くした日から、三咲はそんなあやふやなものに頼って生きてきた。カナちゃんとふたりで本物の怪談を見つけ出し、その怪談で両親を事故死させた男を殺すことが、いまの三咲の目標だ

星を掬う	町田その子	一緒に暮らすことが幸せに繋がらないことはある、幼い時に自分を捨てて出て行った母を恨む娘千鶴、20年後母聖子との最後の旅の思い出をラジオ番組に投稿したことをきっかけに再会する母娘。母は早期認知症を発症し、娘は元夫のDVに苦しんでいました。二人は親子の絆を取り戻すことが出来たのか。
かくして彼女は宴で語る	宮内悠介	明治末期に実在した若き芸術家たちのサロン、その名も「パンの会」。隅田川沿いの料理店「第一やまと」に集った 木下 幸太郎、北原白秋、石井柏亭、石川啄木等が推理合戦を繰り広げる。そこに謎めいた女中・あやのも加わって――。
らんたん	柚木麻子	著者渾身の女子大河小説。大正最後の年。かの天璋院篤姫が名付け親だという一色席兎は、渡辺ゆりにプロポーズした。彼女からの受諾の条件は、シスターフッドの契りを結ぶ河井道と3人で暮らす、という前代未聞のものだった――。(河合道とは、津田梅子に学び米国へ留学、世界を旅して学んだことを基に日本で女子のための学校を設立！)
ブルーピリオド (6)～(10) 【読者希望】	山口つばさ	成績優秀で充実した毎日を送りつつ、どこか空虚な焦燥感を感じて生きる高校生・矢口八虎(やぐち やとら)はある日、一枚の絵に心奪われる。その衝撃は八虎を駆り立て、美しくも厳しい美術の世界へ身を投じていく。美術のノウハウんちく満載、美大を目指して青春を燃やすスポ根受験物語、八虎と仲間たちは「好きなこと」を支えに未来を目指す！
バイトのネズミダくん	キューライス	サメの歯磨き、ゾウの背中洗い、猫カフェ勤務にハリネズミの代役――!? 小さながんばり屋さんのほっこりバイトライフ。すべての働き者に捧ぐ、どうぶつ×お仕事コメディ! けなげなネズミダくんに元気をもらえるオールカラー4コマを200本以上収録♪

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお、8月新着本は、8月13日から貸出いたします。

